

県立広島大学 収受	
第	号
20.12.10	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

推 薦 書

令和2年12月10日

公立大学法人県立広島大学
理事長選考会議議長様

推薦者 教育研究審議会委員

氏 名 谷本 昌太



私は、本人の同意を得て、次の者を、県立広島大学学長候補者の選考対象者として推薦します。

(ふりがな) 氏 名	ふじい たもつ 藤井 保
現職名又は最終職名	公立大学法人県立広島大学 業務評価室長 県立広島大学 学長補佐 (中期計画・再編推進担当)
<p>推薦理由</p> <p>藤井氏は平成元年に広島女子大学に赴任され、32年間にわたり教育、研究、地域貢献及び大学運営に尽力されてきました。この間、県立広島大学理事 (兼) 副学長 (教育・学生支援担当)、同総合教育センター長、同業務評価室長、同学長補佐 (中期計画・学部等再編推進担当) などの役職を歴任してこられました。</p> <p>同氏は、平成19年から4年間にわたり、総合教育センター長としてその手腕を大いに発揮され、3大学統合後の県立広島大学の教育体系の基礎を築かれました。その後、学部等再編推進委員会委員長として“「課題探究型地域創生人材」の育成”を掲げた新学部スタートに尽力されました。また、学長補佐として、中期・年度計画の立案・評価など、大学運営の中核を担ってこられました。一方、学外においては、大学評価・学位授与機構大学機関別認証評価委員会専門委員などを務められ、全国の大学の状況について幅広い知見を持っています。また、研究室運営においても、ときに厳しい指導はありますが、その温厚篤実な性格から学生にも慕われ、卒業生は、管理栄養士や大学教員等で活躍しています。</p> <p>次期学長は、公立大学を取り巻く厳しい状況の中での大学運営、また、コロナ禍における新たな教育の実行が求められます。さらに、今年度から始まった学部等再編を着実に進める必要もあります。このためには、同氏の優れたマネジメント能力とリーダーシップが必要です。</p> <p>以上のことから、次期学長として藤井氏を強く推薦いたします。</p>	